



亀山中学校 学校運営協議会 だより(No.2)

発行:学校運営協議会事務局 令和5年7月

連絡先 亀山中学校 Tel 82-0354

☆第二回学校運営協議会が開催されました

7月に入り梅雨本番かなと思われる頃になりました。4月に199名の新入生を迎え、転入生2名が加わり全校生徒597名になりました。今回は、生徒の皆さんの授業見学をさせていただくとともに亀山市や学校の「不登校対応」についての現状や取り組み、また、当事者の保護者の方からお話を聞かせていただき運営協議会として何ができるのを探っていました。

今回の協議事項

- 授業参観の様子を見ての質疑・感想
- 不登校支援について
教育支援センター「ふれあい教室」より
- 意見交流
- その他



授業参観の様子

●授業参観の様子を見ての質疑・感想

・1年生の学活を見学しました。「イライラのコントロール」をテーマに授業されており統一したカリキュラムであってもタブレットを使用したり口頭で意見を出し合ったりと先生によって色が出ているなと感じました。



・体育館に除湿されない送風機が設置されていますが、室内を冷やすことは難しく体育館は、防災時の避難場所になることから夏場の避難場所としても何らかの手だてが必要ではないでしょうか。

・この暑さの中でもマスク着用者が60%くらいみられます。熱中症対策としてもうまく指導していただきたい。など委員さんよりご意見がありました。

●6月6日実施の体育祭を見ての感想

・天候に恵まれ生徒が明るい表情で取り組んでいたのが印象的でした。
・平日にも関わらず多くの保護者の方々に見学していただき、生徒会種目では、生徒たちの自主性が感じられる良い体育祭でした。など委員さんより感想がありました。

●不登校支援について

今回は、教育支援センター「ふれあい教室」より講師に高嶋浩史先生、山田勝彦氏から経験談をお話しいただきました。

ふれあい教室とは

- ① 不登校に関する相談機関
- ② 不登校児童生徒が、通級により心を元気にするところ
- ③ 不登校に関する調査委・研修・連携

ふれあい教室（校内ふれあい教室）とは

- ⇒安全で安心して過ごせる居場所
- ⇒何でも話を聞いてもらえる、相談に乗ってもらえる場所
- ⇒元気になって、自尊心を高められる場所
- ⇒多様な学びを保証してもらえる場所

資料より抜粋



運営協議会の様子

・不登校支援は、それぞれの子どもの状態もペースも様々。何より一番苦しいのはお子さんやそのご家族であり、その方たちと関わった時に少しでも元気になってもらえるような活動をしているとお話がありました。

●校内教育支援センターの取り組みについて

不登校支援コーディネーター 鴨田先生から校内の取り組みについて話しいただきました。

・亀山中学校には、元気を取り戻し、毎日登校ができることができるようガイダンスルームやカウンセリングルームが設置されています。主に生活相談員の鯉淵先生や不登校支援コーディネーターの鴨田先生を中心に「ふれあい教室」や専門機関、担任の先生方と連携しながら支援してくださっています。

お困りごとがあれば、学校へ相談すれば一緒になって考えて下さることは心強いですね。

●意見交流

・委員さんからは、「ふれあい教室」への行けない子、またそのご家庭の方への支援が必要だ。専門家の意見をききながらそれぞれのケースに合った支援が大事だということがわかった。子どもが不登校になった時に周りは、なぜそうなったのか原因を聞いたり、不登校前に

戻そうと子どもを問い詰めたりしてしまう。子どもたちは、色々な悩みを抱えて現状の状態になっているので充電する期間（お休みする期間）も必要であり、子どもから何かしたいとパワーが出てきたときに一歩踏み出せるきっかけとなるようなしくみづくりのお手伝いができればいい。などたくさんの感想がありました。

・そのきっかけづくりとして体育祭、修学旅行などの学校行事、また職場体験などの選択肢が有効になっていると講師さんよりアドバイスをいただきました。

運営協議会としても今後も「誰一人取り残さない学校」を目指した活動を応援していきます。

・・・日々の活動は、学校だよりでお伝えしていきます・・・

次回 第3回学校運営協議会は、11月頃の開催を予定しています

学校支援ボランティア募集



亀山中学校では、地域に開かれた学校づくりの一環として、学校支援ボランティアの方々に協力いただきながら、学校教育の一層の充実させることを目指しております。

地域や保護者のみなさまの豊富な経験や知恵、様々な特技・趣味等、地域の教育力を積極的に活用させていただきたいと考えております。

ご興味のある方は、ご連絡をお待ちしております。

